

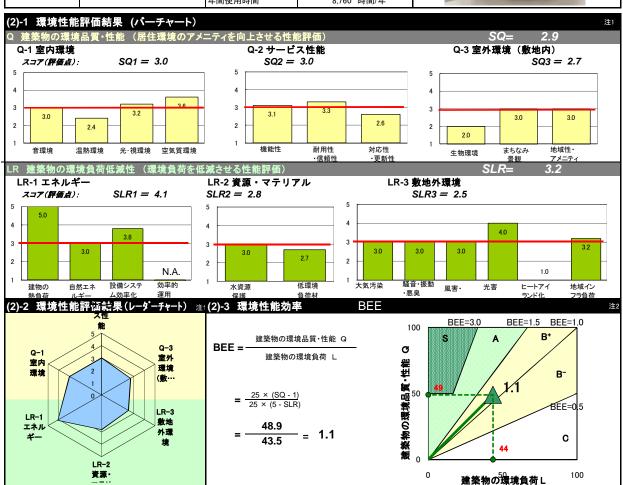
建築物総合環境性能

評価

結 果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2006年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2006(v.1.21)





				U	建築物の環境負荷 L	100
(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目						
(3)-1 建築物の代表	的な環境負荷に関する	る定量的な評価指標	く実施	设計段階、如	竣工段階で詳細な評価を	行う場合に記入>
	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	%
運用エネルギー消費量	MJ/年㎡	MJ/人時	MJ/年㎡			
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年㎡	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年n	า้		
水消費量	m³/年m²	m ³ /人時	m³/年m²			
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年㎡	kg-CO ₂ /人時	kg-CO₂/年n	า้		
LC廃棄物量	t/年m²	t/人時	t/年m²			
LC資源消費量	t/年㎡	t/人時	t/年㎡			
(3)-2 デザインプロセスの評価						
設計段階			建設段階			
有資格者による設計			環境管理計画			
凡例 Q: Quality				of LR category	y BEE: Building Enviro	onmental Efficiency
			:項目を示す。敷地選定に関わる評価			
注2: QIは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。 LIは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。						
注3: (3)の評価はオブションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。						